

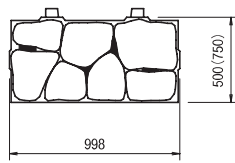
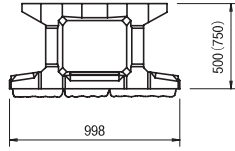


## ●特長

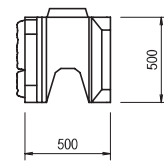
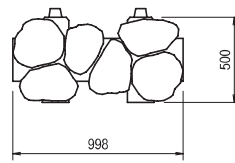
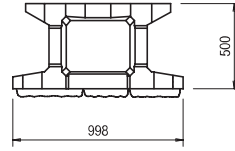
- 本製品は、治水上の安全性を確保したうえで、多様な環境を創出し、豊かで安定的な生態保全を可能にした製品です。
- 通常、護岸として用いられる積ブロックの使用数は7～10個/㎡ですが、本ブロックは2個/㎡使用であるため、施工の省力化が図れ工期を大幅に短縮できます。
- ブロックの控長は50cm（75cm）で、壁体質量も胴込め材量を含め約1,000kg/㎡（1,400kg/㎡）あります。  
また、組積みされたブロックの上下面は凹凸によるかみ合わせと胴込め材量によって滑り出しを防止していますので、土圧に対し十分な安定性があります。
- ブロックとブロック本体に充填された栗石や砕石で形成させる空隙は、草木の繁茂や虫たちの生活の場を提供します。
- ブロックの表面は適度の陰影と石積護岸イメージを与え、周辺の景観に溶け込みます。

■規格図

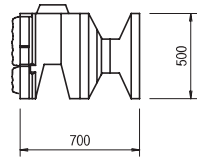
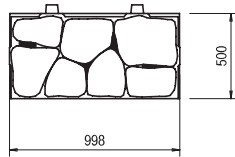
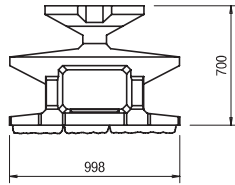
□50、75型



□魚巣タイプ



□練積みタイプ



50型+魚巣タイプ

50型・魚巣タイプ

呼び名	主要部寸法 (mm) 高さ×幅×控長	体積 (m <sup>3</sup> )	参考質量 (kg)	胴込め材量 (m <sup>3</sup> )	参考壁体質量 (kg/m <sup>2</sup> )	使用数 (個/m <sup>2</sup> )
A形	500×998×500	0.1054	242	0.155	980	2
B形	500×498×500	0.0543	124	0.076	—	—
C形	150×998×500	0.0750	172	—	—	—
D形	150×498×500	0.0372	85	—	—	—

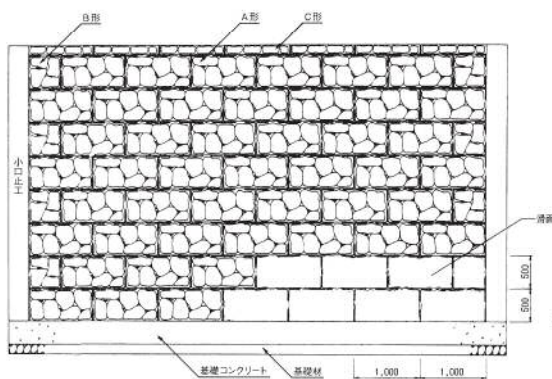
75型

呼び名	主要部寸法 (mm) 高さ×幅×控長	体積 (m <sup>3</sup> )	参考質量 (kg)	胴込め材量 (m <sup>3</sup> )	参考壁体質量 (kg/m <sup>2</sup> )	使用数 (個/m <sup>2</sup> )
A形	500×998×750	0.1413	324	0.244	1,428	2
B形	500×498×750	0.0744	171	0.118	—	—
C形	150×998×750	0.1124	258	—	—	—
D形	150×498×750	0.0559	128	—	—	—

練積みタイプ

呼び名	主要部寸法 (mm) 高さ×幅×控長	体積 (m <sup>3</sup> )	参考質量 (kg)	中込め材 (m <sup>3</sup> )	胴込めコンクリート (m <sup>3</sup> )	参考壁体質量 (kg/m <sup>3</sup> )	使用数 (個/m <sup>2</sup> )
A形	500×998×700	0.1462	336	0.109	0.105	1,503	2
B形	500×498×700	0.0750	172	0.051	0.054	—	—
C形	150×998×500	0.0650	149	—	0.040	—	—
D形	150×498×500	0.0325	74	—	0.020	—	—

◆展開図



◆断面図

